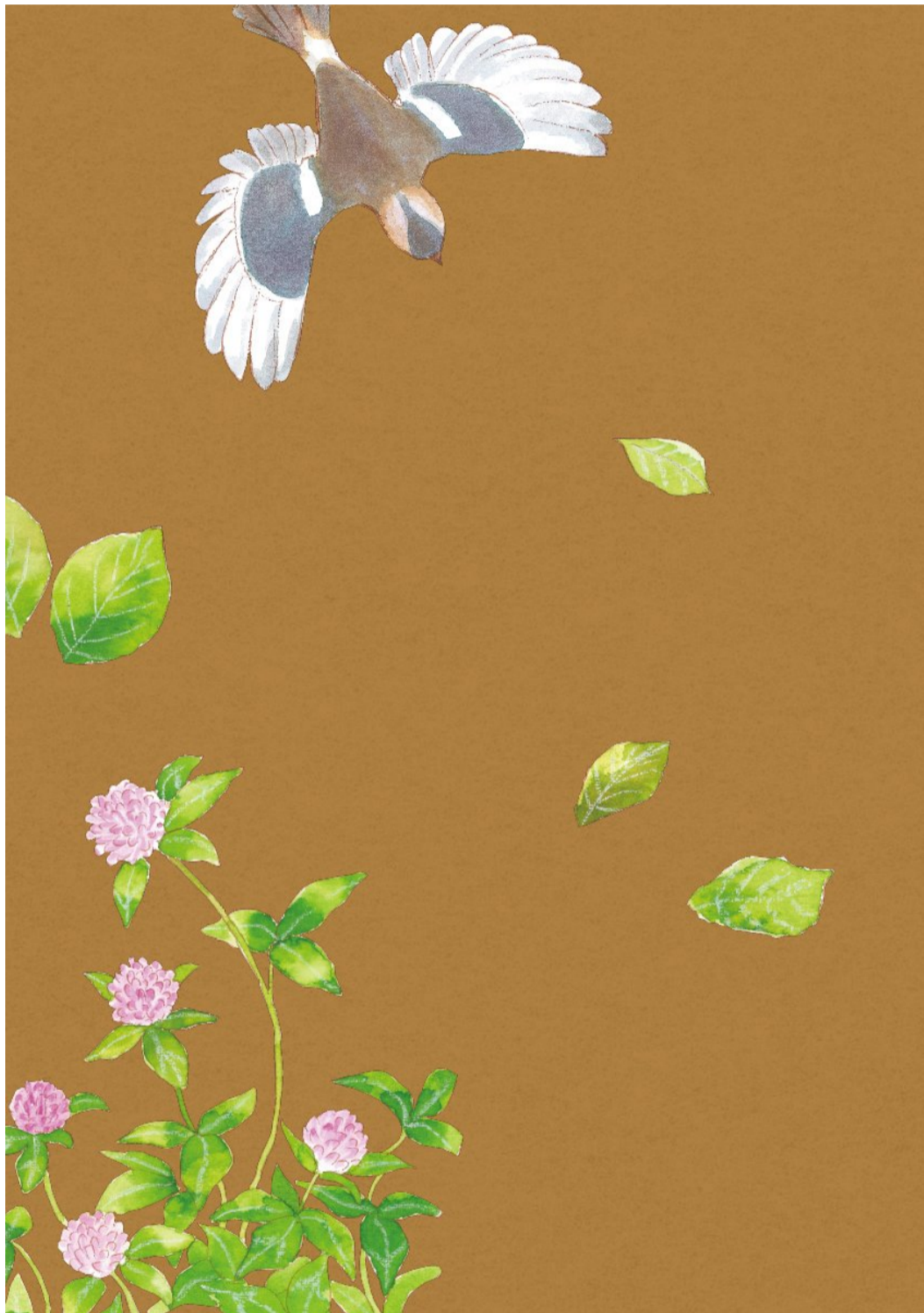


すてきな ぼうし

おばたゆうき





すてきな ぼうし

おばたゆうき



クマくんが はなうたを うたいながら
あるいていました



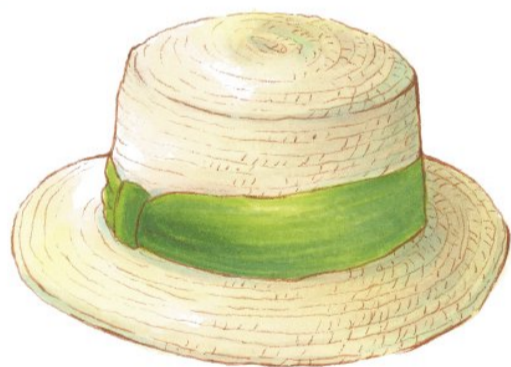
「ぼくは
すてきな
ぼうしを
もっている」

「とっても すてきな ぼうしを
もっているんだ」

クマくんは このぼうしを
とても だいに していました



きいろの むぎわらに
みどりの リボンの



ほんとうに すてきな ぼうし
だったのです



「すてきな
ぼうし」

「すてきな
ぼうし」

クマくんは ねるときも ずっと
ぼうしを みつめていました

「すてきな ぼうし……ふぁ〜……」



クマくんの ぼうしは
みんなの あこがれの まとでした

「クマくん ぼうし
ちょっとだけ
かぶらせて？」

『ダメ』

「にんじん
あげるから」

『ダメ』

「はちみつのある
ばしょ
おしえるから」

『ダメ』

「きのみ
いっぱい
あげるから」

『ダ~~~~~メ』

「クマくんの ケチ!!」
って みんなに いわれても
へいっちら



「だって このぼうしは
ぼくだけの ものなんだもん」

クマくんは
ぼうしを かぶった じぶんを みて
うっとりしました

そんな あるひ



おおきな かぜが
クマくんの ぼうしを
さらっていきました

ぼうしは そらたかく
まいあがって
もりの なかに
おちていきました



クマくんは おおあわてで
ぼうしを
さがしにいきました

「ねえ、ぼくの ぼうし
しらない？」
「しらないよ」

「ぼくの ぼうし
おちていなかった？」
「さあ？」

「ぼくの ぼうし みななかった？」
「みななかったよ」





クマくんが ぼうしを
みつけたとき

ぼうしは
おおきな みずうみの
まんなかに
うかんでいました

クマくんは およげなかったので
ぼうしを ただ みつめることしか
できませんでした



ぼうしは ことりが ひろって
すに していました

「クマくん ぼうし
みつけて よかったね!」



でも たまごが
あるんじゃ
とりかえせません

クマくんが こまったように
ぼうしを みつめていると
リスくんが…
「クマくん しんぱい しないで」

「ほら!!」



「これ さっき
ぼくたちが
つくったんだ
これと とりかえて
あげれば いいよ」

それは とても
ぶかっこうな すでした
(みんなで きの えだ
さがしてきて くれたんだ)

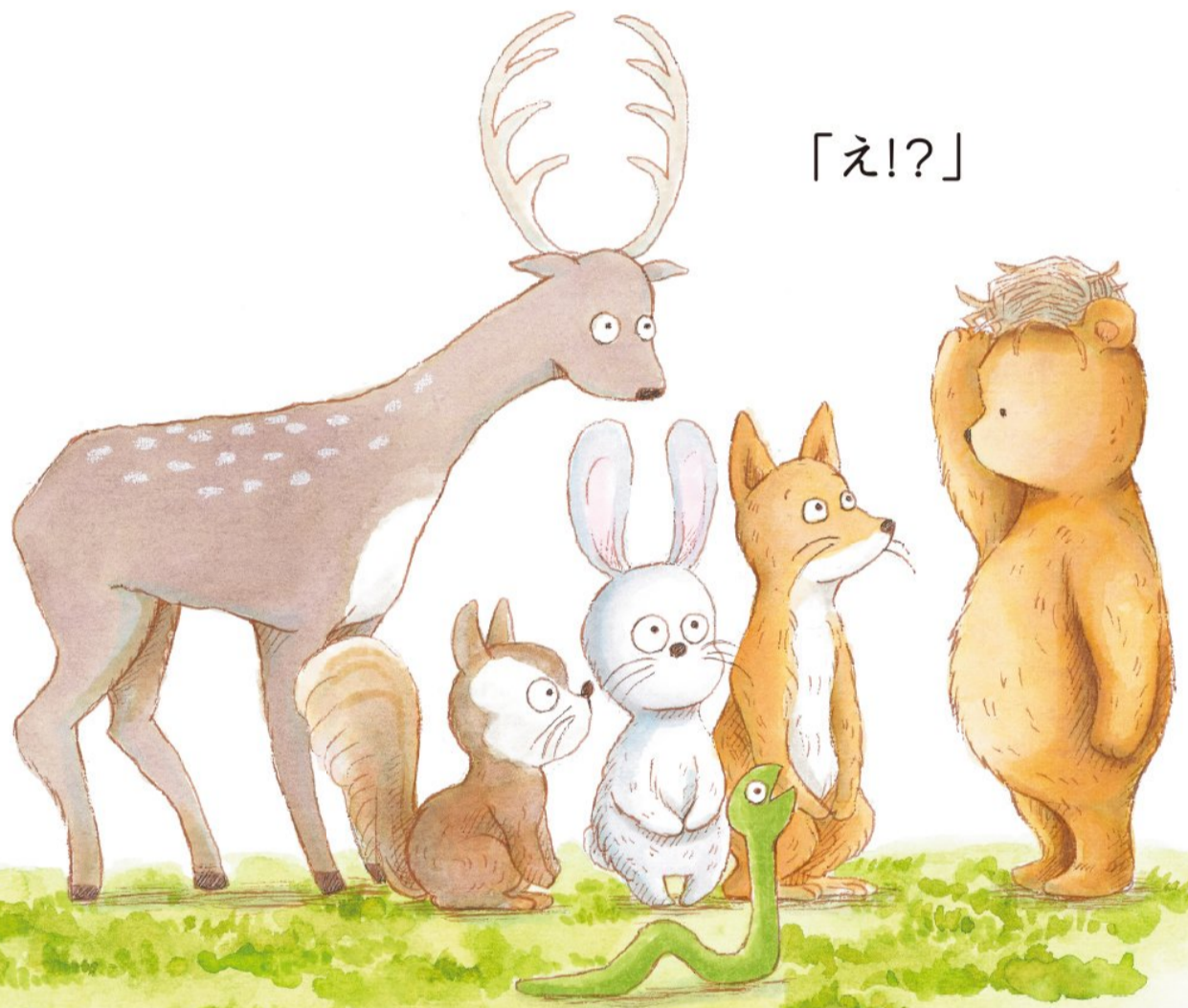


(……ぼくの ために?)



『ぼく
これが いい』

「え!？」



『これが ぼくの あたらしい ぼうし』

クマくんは あたらしい ぼうしに
はなを いちりん かざって
あるきだしました



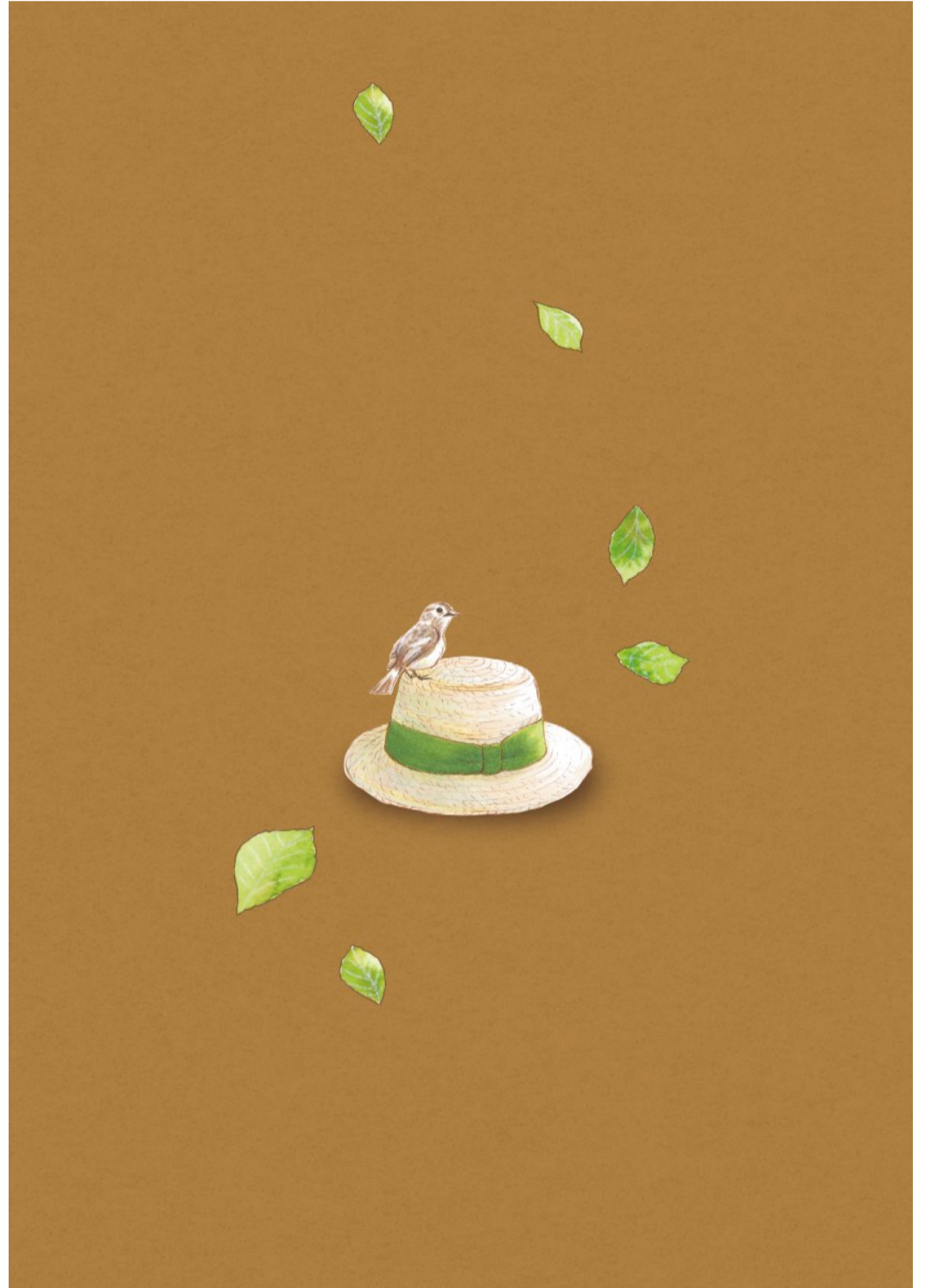
「ぼくは
すてきな
ぼうしを
もっている」

「とっても とても
すてきな ぼうしを
もっているんだ」






おわり






今回



このような素晴らしい機会をいただいたことに
とても感謝しております。
また、わたしの作品が
みなさんにどのように受け止めてもらえるか、
とてもドキドキしています。
読んでくださってありがとうございます。


おばたゆうき



おばたゆうき

.....

北海道釧路市出身。聖心女子大学文学部哲学科卒業後、
アパレル、漫画、イラストなどさまざまな分野で活動。
漫画の代表作品に「僕等がいた」がある。
今回が初めての絵本作品となる。



すてきなぼうし

2019年2月発行

.....

監修：日本マクドナルド株式会社

©2019 Yuuki Obata ©2019 Shogakukan ©2019 McDONALD'S Printed in China

THH
BC5

本書の無断複写・複製・転写は禁じます。
造本には十分注意しておりますが、印刷・製本など製造上の不備がございましたら、
お近くのマクドナルドにご連絡ください。